

2018年度「那須希望の砦」活動報告

2019年1月27日

1. 2018年活動概要

2018年は、計測所の測定活動の他、ホットスポット調査を中心に活動を行った。伊王野山村広場における環境省実証事業について、活発な意見交換を行った。計測器の精度調査を実施した。空間線量計2台破損（1台購入）、HSF故障は保険で大部分が保証された。

2. 活動の目的

「那須希望の砦」設立当初の目的“子供を放射能から守る”の原点に戻り、活動を継続した。

3. 会員数

2018年12月末現在で72名

4. 活動内容

(1) 「子供を放射能から守る」ための活動

①ホットスポット調査を継続して行った。

②311集い主催の子ども甲状腺検診応援。

(4/22 ハロープラザ、10/7 西那須野公民館)

(2) 計測所の活動

計測所測定費の無料化を継続し、利用の拡大を図った。

全計測件数は305件で昨年463件の34%減であった。

食品等の一般計測は、263件で昨年の300件の12%減であった。

計測件数が減少を続けているが、放射能に関心が薄くなってきた今、砦が計測を継続する必要性がある。

みんなのデータサイト提供の高濃度・低濃度標準米サンプル4種類（Ge半導体計測器で検定）を使用した精度確認試験により、計測値が正常であることを確認した。

(3) ホットスポット調査

公共の場所を中心にホットスポット調査14ヶ所を行った。

(3) 那須希望の砦 NEWS

1月と9月に砦 NEWS を発行し、会の活動を紹介した。

(4) 地域、自治体、他団体との協力、協同、情報交換

①アースデーは分散会場となり、九尾まつりは中止となり、ともに参加しなかった。

②311集い主催の子ども甲状腺検診応援。(4/22、10/7)

③6/14、7/19 鍋掛地区の方と鍋掛地区のホットスポットについて話し合いを行った。

④3/25、12/2 ベルギーのヨークさんと市民科学について意見交換した。

⑤4/21 栃木県北ツアーを実施した。

(5) 環境省実証事業に関し、意見交換、実証事業立会などを行った。